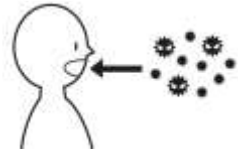


かんせんせい い ちょうえん 感染性胃腸炎について

ノロウイルスを中心とした感染性胃腸炎は、一年を通して発生しています。特に、11月に入ると増え12月には流行のピークをむかえますので、注意してください。

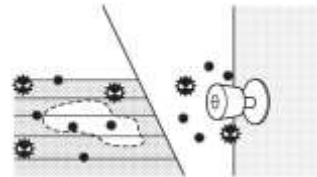
「ノロウイルス」とは

かんせんりよく つよ
感染力が強い



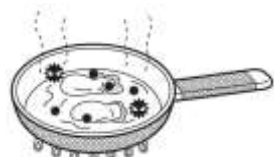
10~100個のウイルスが体に
入っただけで発症します。

かんきやう つよ
環境に強い



床やドアノブなどに付いたウイルスはなかなか
死滅しません。乾燥するとほこりと一緒に舞い上
がり、それを吸った人が感染することがあります。

ねつ つよ
熱に強い



さっと火を通すだけでは死滅しません。
食品の中心温度が85℃以上になって
から1分以上加熱する必要があります。

しょうどく つよ
消毒に強い



アルコールでは消毒効果が弱く、次
亜塩素酸ナトリウム液であれば十分な
消毒ができるといわれています。

感染すると、1~2日の潜伏期間を経て、発熱やおう吐や腹痛、下痢などの症状が起こります。通常2~3日でおさまりますが、脱水症状を起こすこともあり、症状が出たらこまめに水分補給をすることが大切です。

ノロウイルス対策には手あらい



もちこまない ・ ひろげない ・ つけない

とぶつ しょうどくほうほう おう吐物の消毒方法

ようい 用意するもの



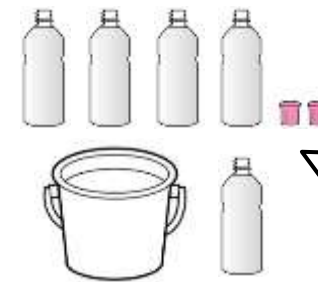
ビニール手袋(使い捨てのもの)、不織布マスク、ガウン(使い捨てのもの)、
バケツ、ごみ袋、次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)、ペーパータオル、ぞうきん

てじゅん 手順



※窓を開け、十分に換気をしながら行う。

①処理する人は、使い捨て手袋とマスク、使い捨てガウンを着用し、50倍に薄めた次亜塩素酸ナトリウム溶液を作っておく。処理をする人以外は、その場から遠ざかる。



ばい うす じ あ えん そ さん よう え き 50倍に薄めた次亜塩素酸ナトリウム溶液

次亜塩素酸ナトリウムは市販の塩素系漂白剤の成分です。
みず2500ccに市販の塩素系漂白剤(塩素濃度約5%)の
キャップ2杯で、濃度が約50倍になります。

②ペーパータオルやぞうきんなどで嘔吐物を覆い、外側から内側におけて静かにふきとる。汚物が残らないようにしっかりふきとる。



③ふき取りに使ったペーパータオルやぞうきんなどは、ただちにゴミ袋に入れ、50倍に薄めた次亜塩素酸ナトリウム溶液を入れ消毒、密封したうえで廃棄する。



④嘔吐物が付着していた床などは、50倍に薄めた次亜塩素酸ナトリウム溶液を浸したペーパータオルなどでふく。



⑤10分後に水拭きする。